

## 柏崎エネルギーフォーラムとは?

会発足時の「原子力発電所建設と地域開発を推進する会」の理念を基に、柏崎刈羽原子力発電所との共生による柏崎地域の振興に寄与すべく活動を展開している団体です。2019年は原子力発電所誘致から50年の節目の年に当たり、2月には柏崎市長および柏崎商工会議所会頭に「柏崎の地域振興に関する提案」を提出しました。

## 活動目的・事業

原子力発電所に関する正しい認識を深めるとともに、地域開発と環境保全の調和を図り、地域住民の福祉の向上に寄与することを目的としています。これらの目的を達成するために次の事業を行っています。

1. 原子力発電所に関する真実の啓蒙宣伝
2. 地域開発と環境保全に関する調査研究
3. 視察調査団の派遣と研修会の開催
4. 原子力発電所に関する資料の収集、普及、その他本会の目的達成に必要な事項

## 2019年度の主な活動

- 07月 「柏崎の地域振興に関する提案」を柏崎刈羽地域の推進4団体に連携要請。また「誘致の歴史」勉強会を同時開催。
- 10月 東京電力ホールディングス(株) 経営技術戦略研究所「技術センター」「電気の史料館」視察  
横浜市風力発電所(ハマウイング)地域連携・低炭素水素技術実証事業を視察
- 11月 柏崎刈羽原子力発電所 誘致決議50周年記念事業開催

## お耳を拝借

## 食の境界線 揚げせんべい東西対決



## 編集後記



『JAIF TIMES Vol.9』では、第21回見学会の模様をお届けしました。

初日は、柏崎商工会議所の会議室をお借りして「柏崎エネルギーフォーラム」幹部の方々と意見交換。柏崎市で柏崎刈羽原子力発電所との共生による地域振興に寄与すべく活動を展開する中、誘致の歴史から現在に至るまで詳しくお話をいただきました。メンバーとは活発な意見交換が行われ、今後の地域振興の在り方を考える場となりました。また、松江エネルギー研究会の石原孝子代表が原子力発電環境整備機構(NUMO)主催北欧視察の概要を報告。スライドにはフィンランドの美しい風景とともに高レベル放射性廃棄物処分場等の現場が映し出され、「規制機関が国民から信頼されている」「長年事故がなく原子力に対する信頼が厚い」など、文化や考え方などで日本との違いを感じさせられました。

翌日は、再稼働に向け福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた安全対策を進める東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所を見学。細部にわたりハード面の改良を行っておられ、大変な努力を重ねられた賜物と感謝を受けました。お忙しい中、ご対応いただいた皆さまにこの場を借りて改めてお礼を申し上げます。今後も皆さまの活動に役立てていただけるよう内容を目指して頑張りますので、ご意見等どんどんお寄せください。これからもよろしくお願い申し上げます。(ノムリエK.S.)

# JAIF Regional Network TIMES

人をつなぐ・地域をつなぐ—いっしょに明日の原子力を考える

2020年2月 Vol.

9



## 過去、現在、そして未来へ 柏崎で考えた地域振興と安全性のこと。

### JAIF地域ネットワーク第21回見学会 概要

原産協会のJAIF地域ネットワークは、2019年11月7~8日の1泊2日で「第21回見学会」を実施しました。この見学会には全国からメンバー13名の方が参加されました。

#### ■1日目:11月7日(木)

- 新潟県柏崎市のホテルサンシャインに集合・出発→(徒歩で移動)→柏崎商工会議所にて「柏崎エネルギーフォーラム」と意見交換→ホテルサンシャイン泊

#### ■2日目:11月8日(金)

- ホテルサンシャイン出発→(バスで移動)→東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所見学→柏崎駅・解散



地図出典:東京電力ホールディングス(株)ホームページ

# 11/7

## 柏崎で意見を交わす

—柏崎エネルギーフォーラムとの意見交換 & 北欧視察報告—

### 柏崎エネルギーフォーラムとの意見交換

#### 概要

開催日時	2019年11月7日(木) 16:00~17:30
開催場所	柏崎商工会議所「特別会議室」
参加者	20名 (メンバー:13名、 柏崎エネルギーフォーラム:3名、 電力他:4名)

#### 講演

- 柏崎エネルギーフォーラムの小林英介会長による講演
- 柏崎市の現況(人口8万人、基盤は製造業)
- 誘致の歴史(昭和40年代初め「国策への貢献と地域開発」を掲げた当時の小林治助柏崎市長のリーダーシップの下、産業界、地元住民の協力により原子力発電所誘致が促進された)
- 柏崎刈羽原子力発電所の「誘致の理念・活動」と「概要、立地の効果」
- 柏崎市次世代エネルギービジョン
- 柏崎エネルギーフォーラムの活動

### 北欧視察概要報告(NUMO学習支援事業 海外先進地視察)

JAIF地域ネットワークメンバーカーの石原孝子松江エネルギー研究会代表より、北欧視察についてご報告いただきました。



- 日 程: 2019年9月1日(日)~8日(日)
- 参加者: 地域でエネルギーの理解促進活動を行っているオピニオンリーダー、大学生など6名
- 視察を通して感じたこと

- 自治体、地域住民と事業者の信頼関係が構築されていることが印象的でした。
- 視察を通して、どこでも耳にしたキーワードは「信頼」。中でも「信頼」ができる人づくりの一端をフィンランドの教育方針に見ることができました。
- スウェーデンでは、事業者(SKB)が住民とのコミュニケーションを欠かさないことを強く意識しており、このことは日本も見習うべきだと感じました。

#### ■訪問先

- 【フィンランド】
  - ・オルキルオトビジターセンター
  - ・低中レベル放射性廃棄物処分場(VL)
  - ・オンカラリサーチギャラリー
  - ・オンカロ(地下岩盤特性調査施設)
  - ・エウラヨキ自治体(市長・地域住民)
  - ・エウラヨキ市内中学校(小中一貫校)
- 【スウェーデン】
  - ・キャニスター研究所
  - ・エスピボ岩盤研究所
  - ・低中レベル放射性廃棄物処分場(SFR)
  - ・最終処分予定地
  - ・エストバンマル自治体(市長)



#### 質疑応答および意見交換

- Q1. 50年にわたる活動を支えてきたものをお聞かせいただきたい。**

**A1.** 地域が自ら原子力発電所を誘致したことを大切にしてきた。50年ほど続いている柏崎エネルギーフォーラムは、柏崎青年会議所や工業会の若手メンバーが合同して結成。国のエネルギー政策に貢献することを第一に、自分たちが消費しない電力を東京に送るという役割を誇りに思い、そこに地域振興を重ね合わせて活動している。

- Q2. 推進団体が数多くあるとお聞きしたが、活動を通して支障になるようなことはないのか。**

**A2.** 推進団体はリーダー的な柏崎商工会議所を含め主な団体として「柏崎エネルギーフォーラム」「柏崎青年会議所」「柏崎工業クラブ」、原子力発電所のお膝元の「荒浜フォーラム21」、刈羽村の「刈羽エネルギー懇親会」を作成し、市長他に提出させていただいた。

- Q3. 柏崎エネルギーフォーラムは地域の理解活動として、何か考えられているのか。**

**A3.** 福島第一原子力発電所の事故後は、原子力の必要性や貢献について話すことさえばかられた。それでもエネルギー基本計画が示す通り、やはり原子力は必要であることから、これからの原子力立地地域の在り方を考えたとき提案書「柏崎の地域振興に関する提案～これからの原子力立地の在り方～」を作成し、市長他に提出させていただいた。

- Q4. 一般市民の方にはどのような理解活動をされているのか。**

**A4.** 一般市民へのPA活動※は商工会議所が担っている。市民に分かりやすくアプローチするため、温暖化問題から原子力の必要性を訴えるなど柔らかい切り口で、著

エネルギー懇親会があるが連携しており、特に支障はない。

- Q5. 原子力に対する意識が高い当地域で、今後どのように住民を引っ張っていくとされているのか。**

**A5.** 柏崎市民は原子力に対して冷静だと思う。ただ、福島第一原子力発電所の事故後は原子力に対していい感情を示さない人もいる。従って、柏崎の歴史を振り返るとともに柏崎の立地地域としての役割を、少しずつ広めていかなければと考えている。

- Q6. 多数意見に引っ張られるがちな日本では、正しいことを正しく伝える力がそれがてしまう場合がある。地元の工業大学には、国の将来を憂いてエネルギーのことを考えている人たちもいるので、これらの学生と組んでいけないものかと考えられるが。**

**A6.** 同感だ。提案書は地域のことを中心に書かれているが、これからの原子力立地地域の在り方もうたっており、学生も含め皆さんと協力して活動していくべきだと思っているので、よろしくお願いしたい。



柏崎エネルギーフォーラム 小林英介会長



NPO法人放射線量解析ネットワーク 山野直樹理事長



柏崎商工会議所内に掲げられている元総理大臣・田中角栄氏の書

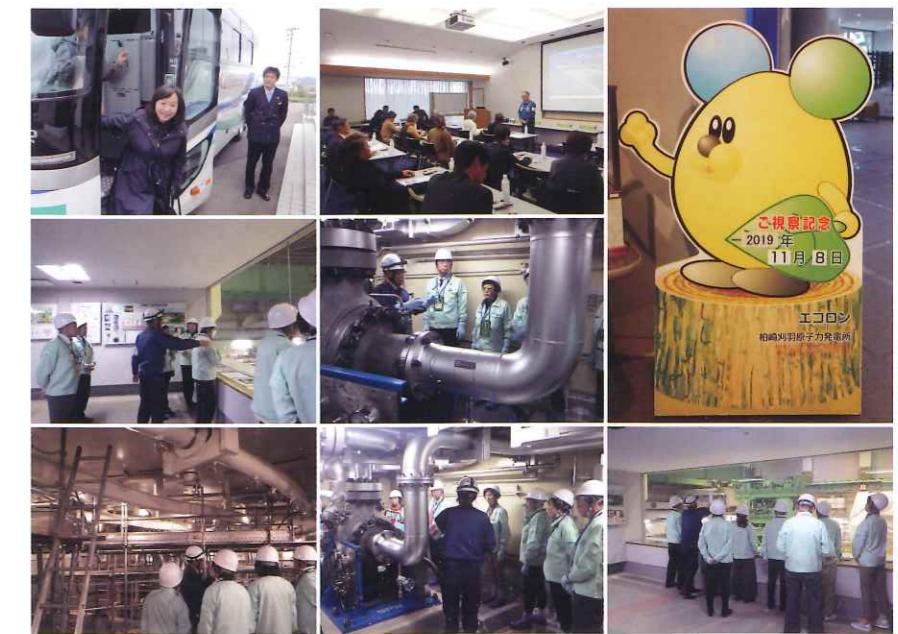
# 11/8

## 安全対策の最前線を見る

—東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所見学—

#### 視察スケジュール

08:20	ホテルサンシャイン発
09:00~	東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所発電所入所手続き(運転免許証等により本人確認)
09:10~	発電所の概要説明
09:50~	サービスホールで原子炉模型等の説明
10:10~	構内見学 ※以降、2班に分かれ、6号機と7号機を交互に見学
10:20~	建屋内ギャラリー視察(6号機) ①中央制御室(パネルで説明) ②原子炉オペレーティングフロア
11:10~	建屋内管管理区域視察(7号機) ①原子炉格納容器内(D/W)、高圧代替注水系設備(HPAC) ②タービン建屋オペレーティングフロア
12:30~	昼食・質疑応答(サービスホール)
13:10~	バスで移動
14:30	柏崎駅で解散



#### 視察後の感想から

- 防潮堤、水密扉、電源車や消防車、重機の配備、災害想定訓練……、大変な努力を重ねられた賜物と感銘を受けました。
- 細部までハード、ソフト両面の改良を行っていることが分かりました。
- さまざまな安全対策の工事が進められていましたが、常に想定外を考えての作業で、ここまでするのかとビックリしました。